

令和3年度 【 学校教育目標 】 互いに認め合い、支え合い、高め合う児童の育成

【めざす学校像】◇ 学ぶ力の向上をめざす学校 ◇ 学びの環境が充実した学校 ◇ 地域・保護者との連携を深め、地域に開かれた学校

【めざす教師像】◇ 児童の個性や実態をとらえ、一人一人を大切にできる教師 ◇ 自らを律し、授業の充実に努める教師 ◇ 厳しさと優しさを身につけ、心を通わせる教師

令和3年 4月 1日

めざす児童像			重点テーマ	本年度の重点努力事項
【めざす児童像】かんがえる子 がんばる子（知） <small>すすんで学ぶ子ども めあてに向かって、がんばる子ども</small>			<ことば>を育てる ・ <ことば>で育てる	1 学びの意義・目的や夢・あこがれをもち、目標に向かって学習する児童の育成 ・学習規律を確立する。 ・(低学年) めあてをもち認め合う集団の中で、集中して学習に取り組ませる。 ・(高学年) 夢や憧れをもち高め合う集団の中で、自信をつけさせる。 ・学びの意義・目的や勉強の大切さ、目標をもたせる。 ・全学年において自分の考えや思いを発表させる学習活動を仕組む。
生涯を通じた学び	1 夢・あこがれ	学びの根底とする		
	2 求めて学ぶ	目標をもち、主体的な学びの態度で取り組む		
	3 誇り・伝統	港小の誇りと伝統を継承する		
確かな学力	4 習得	基礎的な内容を確実に身につける		
	5 活用	課題解決のための力を身につける		
学びの基礎・基本	6 学習規律・態度	学習への構えをもつ 学習スタンダードの確立		
	7 集中	集中力が成果を決める		
	8 言 聞 く	「聞く」から「聴く」へと体得させる		
	9 葉 話 す	自分の考えをしっかりと話す		
	10 の 読 む	より多くの本や文章を読み、意味をとらえる		
	11 力 書 く	目的に応じて書く、より多く書く		
	12 家庭学習	家庭でも一定時間学習する		
生活の基礎・基本	13 思慮・分別	考えた言動をし、物事を解決しようとする		
	14 規範意識・公共心	きまりを守り、物を大切にする		
【めざす児童像】やさしい子（徳） <small>命の重みとやさしさに気づく子ども</small>			① 学習指導の充実 ② 生徒指導の充実 ③ 特別活動の推進 ④ 道徳教育の充実 ⑤ 人権教育・特別支援教育の推進 ⑥ 健康・安全教育の推進 ⑦ 学級経営の充実 ⑧ 学校環境の整備と充実 ⑨ 家庭・地域社会との連携 ⑩ 総合的な学習の時間の充実 ⑪ 新学習指導要領に向けての取組	2 確かな学力の定着を図る校内研修の充実 ・確実な習得と活用力（思考力・判断力）の育成を図る授業を創出する。 ・児童のよさや特性など実態を生かした授業過程を創出する ・「言葉の力」の獲得を目指した学習を推進する。 ・認め合い支持的風土のある学級経営を根幹に置く。 ・発達に課題をもっている児童への学習フォローをすすめる。
コミュニケーションの基礎基本	1 あいさつ	学校・家庭・地域でも明るいあいさつ		
	2 返 事	「はい!」としっかり返事をする		
	3 笑 顔	感謝の気持ちで心明るくにこやかに過ごす		
	4 礼 儀	失礼な振る舞いをせず、けじめをつける		
	5 言葉づかい	ていねいで説明的な言葉をつかう		
豊かな人間関係	6 思いやり	相手の気持ちを考え、おこないで示す		
	7 親切・善行	小さな親切を積み上げる		
	8 友情・信頼	人の喜びを自分の喜びとする		
	9 助け合い	周りを見て、体を動かす		
	10 素直・反省・感謝	素直に聞き入れ、前向きになる		
生命・自然	11 生命尊重	いのちを見つめ、大切にする		
	12 自然愛	自然に感謝し、大切にする		
【めざす児童像】けじめのある子（体） <small>心と体の健康に気をつける子ども</small>			3 家庭学習など生活習慣・学習習慣の改善を図る ・家庭学習の時間・方法などに一貫性をもたせ、習慣化を図る。 ・早寝、早起き、朝ご飯、メディアの時間短縮など家庭への啓発を進める。	
健康の基礎基本	1 基本的生活習慣	早寝・早起き・朝ご飯、メディアへの向き合い方		
	2 元気な朝	遅刻なし・忘れ物なし、元気な送り出し		
	3 健康づくり	自己管理、家族による管理、健康観察		
	4 食 育	生き抜く力の基礎をつくる		
	5 安全・安心	安定した気持ちで生活できる		
自ら動き、鍛える	6 遊 び	外遊びを積極的に行う		
	7 強 さ	身体的・精神的な強さをもつ		
	8 体力づくり	目標をもち、継続する		
	9 忍 耐	逆境に負けず、がまんする力をつける		
	10 勤労・奉仕	自ら体を動かし、汗を流す 無言そうじ		
	11 責任・節度	落ち着いて行動し、逃げない		
	12 自信・自己肯定感	支持的風土の中でこそ力を出すことができる		
			1 あいさつ・礼儀を基盤に置いたコミュニケーション力の育成 ・あいさつ、礼儀を繰り返し指導し、教師自らも実践する。 ・生活指導重点項目を推進する。 ・言語活動を各教科で意図的に組み込み、言語環境を充実させる。 ・日常生活の中で、「受け答え」をしっかりさせる。	
			2 命を大切にし、認め合う集団の中でやさしさをもって行動する児童の育成 ・ていねいで説明的な言葉を日常化させる。 ・学級経営の中心に良好な人間関係の構築を位置付ける ・縦割り活動の中で交流を進め、体験によって学ばせる。 ・特別の教科道徳を要として、道徳的実践力を高める。 ・「いのちを見つめる強調月間」「人権週間」を中心として生命尊重・人権尊重の授業を実践する。 ・校内支援体制をもとに、特別支援教育の授業実践を広げ深める。	
			1 心明るく、たくましく、前向きに生きる児童の育成 ・基本的習慣が身につく、安定した気持ちで生活できる家庭への啓発を進める。 ・健康づくり、体力づくりを強調月間をとって重点的に取り組む。 ・遊びや交流活動の中で、心の強さややさしさを涵養する。 ・ノー原稿での発表を推し進め、積極的に自己を表現し交流するコミュニケーション力の育成を図る。 ・児童と向き合う時間を見出すと共に、安心できる心的・空間的な居場所づくりを図る。	
			2 自ら体を動かし、自信をもって行動できる児童の育成 ・目標をもち、自ら体を動かし鍛えていく中で、成就感や満足感をもたせる指導を繰り返す。 ・自己肯定感を引き出し、自信をもって行動できる子を育てる。	